

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 09-294819

(43)Date of publication of application : 18.11.1997

(51)Int. CI.

A62B 18/02

A61M 15/08

(21)Application number : 08-146396 (71)Applicant : SAKI TAKAAKI

(22)Date of filing : 02.05.1996 (72)Inventor : SAKI TAKAAKI

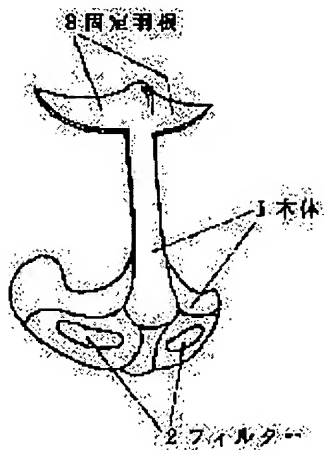
(54) NOSE MASK

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To clean outside air through a filter and prevent dust, pollen, and smoke from entering the inside of a nose by providing a main body with a vent hole and installing the filter therein.

SOLUTION: A vent hole is provided in the lower part of a main body 1, a filter 2 is disposed in the vent hole, and fixed blades 3 are provided on the upper part of the main body 1. Accordingly, when dust, pollen and smoke are generated, they are reduced to the minimum so as to

breathe and live a comfortable daily life or work, and also the mask can be utilized for fashion and remedy.



[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's
decision of rejection]

[Kind of final disposal of
application other than the
examiner's decision of rejection or
application converted registration]

[Date of final disposal for
application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against
examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against
examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-294819

(43)公開日 平成9年(1997)11月18日

(51)Int.Cl. ⁴	識別記号	片内整理番号	P I	技術表示箇所
A 6 2 B 18/02			A 6 2 B 18/02	C
A 6 1 M 15/08			A 6 1 M 15/08	

審査請求 未請求 請求項の数1 書面 (全 2 頁)

(21)出願番号 特願平8-146396

(22)出願日 平成8年(1996)5月2日

(71)出願人 596032172

▲崎▼ 孝明

三重県南牟婁郡紀宝町井田2193番地の11

(72)発明者 ▲崎▼ 孝明

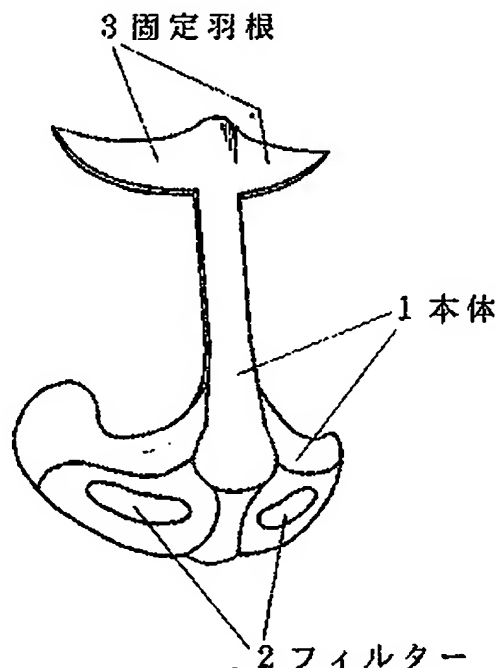
三重県南牟婁郡紀宝町井田2193番地の11

(54)【発明の名称】 鼻マスク

(57)【要約】

【課題】この発明は、本体1に通気孔を設け、そこにフィルター2をつけた鼻マスクに関するものである。

【解決手段】本体1の下部に通気孔を設け、その通気孔にフィルター2を設け、本体1の上部に固定羽根3を設ける。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 本体1に通気孔を設け、そこにフィルター2をつけた鼻マスク。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、本体1に通気孔を設け、そこにフィルター2をつけた鼻マスクで鼻の穴にふたをして、外部のホコリや花粉などが鼻の中に入り込まないようにする器具に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来からよく使用されているマスクは、鼻と口の部分全体を布状のものでがぶせるものであったが、これは鼻と口の間や、そのまわりの顔のくぼみなどで、マスクと顔の間にどうしてもすき間ができ、外部のホコリや花粉などが、まわりのすき間から入ってくるので効果が半減している。又、食卓の時やタバコをすうときは、このマスクは取りはずさなければならない。さらに眼鏡をかけている人は、マスクによって、吐く息が上に上がり、眼鏡がくもってしまい、このマスクを取りはずさなければならない。そんなことをしていると、マスクの効果は、ほとんどなくなり、花粉症などの人は、症状悪化の原因となり、大変つらいものである。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、このような欠点を除いて、快適な日常生活あるいは仕事ができるような、器具を開発しようとするものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明を図面により説明すれば、

(イ) 本体1の下部に通気孔を設け、その通気孔にフィ
ルター2を設ける。

(ロ) 本体1の上部に固定羽根3を設ける。

【0005】

*

*【発明の実施の形態】本発明は、以上のような構造であるから、これを使用するときには、本体1を鼻に付けて、フィルター2の部分が鼻の穴をふさいでしまうようにする。これで外部の空気はこのフィルター2を通り清浄されて鼻の中に入ってくるので、ホコリ、花粉、煙、などの大部分はこのフィルター2で止まって鼻の中への進入を防ぐ。

【0006】なお、本発明実施に当たって次の如きことができる。

10 (イ) フィルター2には通気性のよい、清浄機能の高い材料が適している。

(ロ) 固定羽根3は、本体1を鼻に付けているときに、ずれたりしないように設けているが、本体1でも固定出来るので特になくても差し支えない。

(ハ) 本体1や固定羽根3の形状、大きさ、色、又は付属品などを付けてくふうすると、アクセサリとしても併用できる。

(ニ) フィルター2の部分に、治療薬などを付けると、さらに役に立つ。

20 【0007】

【発明の効果】したがって、ホコリや花粉や煙などが発生したとき、それを最小限におさえて呼吸でき快適な日常生活あるいは仕事ができ、さらにファッションや治療にも利用できる鼻マスクである。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の斜視図

【図2】 本発明を鼻に付けたときの横顔

【図3】 本発明の他の実施例を示す斜視図

【符号の説明】

1は本体

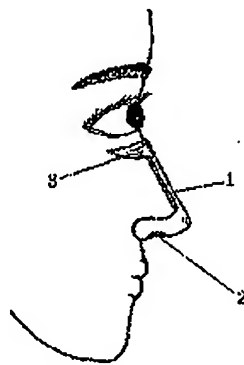
2はフィルター

3は固定羽根

【図1】



【図2】



【図3】

